



宮崎 学 Manabu Miyazaki

写真家。1949年長野県生まれ。精密機械会社勤務を経て、1972年写真家として独立。自然と人間をテーマに、社会的視点に立った「自然界の報道写真家」として活動中。

1990年『フクロウ』で第9回土門拳賞、1995年『死』で日本写真協会賞年度賞、同書と『アニマル黙示録』で講談社出版文化賞、

2013年IZU PHOTOMUSEUMにて個展「宮崎学 自然の鉛筆」展開催、2016年パリ・カルティエ現代美術財団にてグループ展に参加。

最新刊「森の探偵」(亜紀書房)発刊中。

…今の社会には、野生動物たちの状況や心理を読める人が少なくなりました。

まずは、今の日本の山野の現状をしっかりと把握し、周辺にどのような野生動物がどのくらいいるのか、ということを確認する必要があります。

と同時に、人間社会が無意識に行っている「餌付け」行為にも気づかなければならない。

(宮崎学・著「イマドキの野生動物」プロローグより)

プログラム

13:00～15:30 講演 宮崎学氏(自然界の報道写真家)

15:30～15:50 コーヒーブレイク

15:50～17:00 パネルトーク

清水幸男氏 湖北野鳥の会会長

松本茂夫氏 農事組合法人大戸洞舎理事

橋本 勤氏 ながはま森林マッチングセンター



麦を食べるサル 長野県  
©2015 Manabu Miyazaki



住宅街の鹿 北海道  
©2007 Manabu Miyazaki



破棄スイカを食べに来たイノシシ 長野県  
©2001 Manabu Miyazaki

100枚を超えるスライドで自然を読み解く。

自然界の生と死 自然環境とニンゲン。

獣害、環境保全、動植物に興味をお持ちの方なら、どなたでもどうぞ。

「イマドキの野生動物」の目からうろこが落ちるお話が聞けます。

JR 北陸本線木之本駅から徒歩 6 分

北陸自動車道木之本 IC から 2 分

国道 8 号線長浜方面から木之本信号手前右

